

(新) 日本の宝・国立公園の魅力向上による元気な地域づくり事業（一部公共）

2,000百万円（0百万円）

自然環境局自然ふれあい推進室、国立公園課、自然環境整備担当参事官室

## 1. 事業の概要

国立公園は優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資することがその目的となっており、日本を代表する観光資源ともなっている。

また、National Park（国立公園）は各国の自然を代表する地域として国際的に認識されており、訪日外国人の関心も高いことから、多言語化等により国立公園に関する情報を海外に向けて発信していくことや、質の高い景観を楽しむ施設の整備をする等、日本観光の高付加価値化を図ることにより、魅力ある観光地域づくりに寄与できるものと考えられる。

一方で、国立公園の魅力向上にあたっては、それぞれの地域の実情を踏まえた観光や環境教育など地方公共団体の施策と連携することが有効であり、環境省と地方公共団体等の協働による国立公園の管理運営が求められている。とりわけ、地形・地質を保全しつつ、観光や教育などに活用し、地域活性化につなげようとするジオパークの取組については、地方公共団体等から環境省に対して支援が求められているなど、国立公園の施策との連携についての期待が高い。

さらに、国立公園の利用者数は近年減少していることから、観光事業者等からは、国立公園の魅力向上や海外に向けての情報発信が必要であると指摘されている。

これらを踏まえ、国立公園が提供するサービスの質の向上、国立公園を核とした魅力的な地域づくりを地域との協働等により進めるための体制構築、ジオパーク等の取組と連携した新たな視点からの魅力ある公園利用の実現、エコツーリズム等を進める地域への支援、山岳環境など自然環境資源の持続的活用の推進、国立公園の一定のまとまりのある地域ごとにその魅力向上のための統一的な施設整備を行うことにより、国内外の利用者ニーズに応える国際競争力のある魅力的な地域づくりに寄与するものである。

### (1) 国立公園等魅力向上プロジェクト推進調査事業

国立公園の魅力向上のため、外国人利用者受入れ環境の課題整理及び改善方策の検討、公園利用の推進や統一感のある情報提供手法等に係るモデル事業の実施を通じた国立公園サービス向上ガイドラインの策定を行う。また、我が国の国立公園の魅力や利用についての情報を取りまとめ海外に向けた発信を行う。

### (2) 国立公園協働型管理運営体制強化事業

多様な主体と協働した管理運営による地域に即した魅力ある国立公園の創設を目指すため、協働型管理運営体制の構築を推進する。あわせて、当該取組の情報を海外に向けて発信することにより、我が国の国立公園の国際的価値を高める。

### (3) ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業

ジオパークと国立公園の施策の連携を図るため、ジオパーク認定地域において、学術的価値の高い地形・地質を抽出調査し、その魅力を観光、環境教育、防災教育に活用するための計画を策定する。

(4) エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業

国立公園等において、自然観光資源を活用した観光地域づくりを推進するため、魅力あるプログラムの開発、ガイド等の人材育成などの地域のエコツーリズムの活動を支援する。

(5) 自然環境資源の持続的活用推進事業

山岳環境保全等の環境整備や質の高い自然環境資源の保全管理、利用者サービスの向上を図る取組を実施する。

(6) 国立公園魅力向上施設重点整備事業（公共）

世界遺産や世界ジオパークの候補地等、国立公園の一定のまとまりのある地域において、ビューポイント施設や自然解説施設などの国立公園の魅力をより一層引き出すための施設を、外国人利用者を始めとした利用者サービス向上に配慮して統一的に整備する。

2. 事業計画

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全事業	←				→

3. 施策の効果

国立公園等の自然観光資源を最大限に活かしつつ、多様な主体との協働による地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスの提供、統一感のある情報提供の実施、魅力向上のための施設整備、ジオパーク等と連携した体制の構築等を行うことにより、地域の自然環境資源を活用した地域間・国際間の人の交流の活発化を図り、日本観光の高付加価値化に資する。

# 日本の宝・国立公園の魅力向上による元気な地域づくり事業

## 国立公園等における現状と課題

- 国立公園は優れた自然と景観を有する日本を代表する観光資源であるが利用者数は近年減少傾向
- 国立公園は国を代表する自然地域として国際的に認識され、訪日外国人の関心が高いが、多言語対応等の受入れ体制が不十分 など

## 日本再生戦略（平成24年7月31日閣議決定）

### 【観光立国戦略】

- 震災や原発事故により落ち込んだ観光需要の回復
- 訪日外国人旅行者数増大に向けた取組と受入環境水準の向上
- 国内外から選好される魅力ある観光地域づくり など

## 国立公園の魅力を引き出す

### 1 国立公園等魅力向上プロジェクト推進調査事業

- ◇ 国立公園サービス向上ガイドラインの策定調査
- ◇ 外国人利用者受入れのための環境整備方策検討調査
- ◇ 国立公園等を核とした魅力向上モデル事業



### 2 国立公園協働型管理運営体制強化事業

- ◇ 協働型管理運営体制構築強化事業
- ◇ 国立公園ハイレベル協議会（仮称）の設置
- ◇ 協働型管理運営体制構築のための指針の作成
- ◇ 協働型管理運営推進交付金



### 3 ジオパークと連携した地形・地質の保全活用推進事業

- ◇ 国立公園におけるジオパークと連携した地形・地質の保全活用計画の策定
- ◇ 国立公園とジオパークの連携した取組に関するシンポジウム



### 4 エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業

- ◇ エコツーリズム、ジオツーリズム等による地域の魅力向上支援事業（交付金）
- ◇ 魅力づくりアドバイザー派遣事業
- ◇ 自然の魅力伝え人育成事業（ガイド等育成）



### 5 自然環境資源の持続的活用推進事業

- ◇ 山岳環境保全対策事業（山岳トイレ等整備）
- ◇ 自然環境資源保全基盤整備推進事業（外国人観光客への自然利用マナー普及啓発等）



### 6 国立公園魅力向上施設重点整備事業（公共）

国立公園の魅力をより一層引き出すための施設、利用者へのサービス向上に必要な施設を、景勝地に適したデザインによって統一的に整備  
 <例>ビューポイント施設（展望台）、多言語対応標識、自然や地域資源の解説施設 等



国際競争力のある  
魅力あふれる地域の  
実現